

Kawasaki City SDGs Guidance

～ 川崎市庁内SDGs取組の進め方 ～

Ver3.0

2025年3月 川崎市

check!!



本『進め方』は、**職員**がSDGsの本質と使い方を理解し、庁内業務を**プロモーション**、**連携**、**改善**することを目的に作成しました。
2023年8月にVersion1.0を発行し、2025年3月に**Version3.0**を発行しました。

本『進め方』の取組が高く評価され、日本最大級の政策コンテストである『**第18回マニフェスト大賞（応募数3,088件）**』の『**優秀賞（40件）**』及び『**プレゼンテーション特別賞（1件）**』をダブル受賞！



※かわさきSDGs大賞2024受賞者の取組

INDEX



※かわさきSDGs大賞2023受賞者の取組

序章・基本的事項

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

附属資料等

- • • 序章・基本的事項 (P3)
- • • SDGsの『本質と使い方』 (P11)
- • • 庁内事務事業をSDGs視点で『プロモーション』 (P23)
- • • 庁内事務事業をSDGs視点で『改善・連携』 (P32)
- • • 庁内SDGsの『先進事例や身近な事例』 (P38)
- • • かわさきSDGsのゴールに向けて (P54)
- • • 附属資料等 (P56)

序章・基本的事項 ~ 本『進め方』の目的・位置づけ等 ~

What's this...



1 はじめに

Version3.0

- 「Kawasaki City SDGs Guidance ～ 川崎市庁内SDGs取組の進め方 ～（以下『進め方』）」は、職員がSDGs※1の本質と使い方を理解し、庁内業務をプロモーション、連携、改善することを目的に令和5（2023）年8月に**version1.0を策定**しました。
- SDGsを取り巻く状況の変化に柔軟に対応するため、本『進め方』は年1回程度を目安にアップデートを行っており、今回の**Version3.0へのアップデート**では、**庁内取組事例の更新**や、本市職員のSDGsに関する**アンケート調査結果などの最新情報を盛り込み**ました。



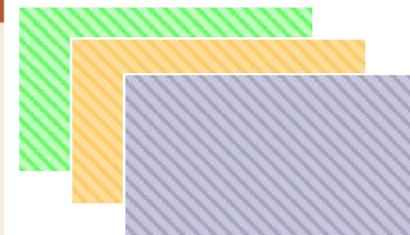
Ver1.0
2023.8策定



Ver2.0
2024.3改訂



Ver3.0
2025.3改訂



年1回目安に
アップデート

※1 Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標
17のゴール、169のターゲット、231の指標（重複を除く）から構成され、平成27（2015）年9月の国連サミットで全会一致で採択された、世界共通の目標のこと。取組期間は2016～2030年の15年間。

2 概要・目的①

(1) 本『進め方』の目的

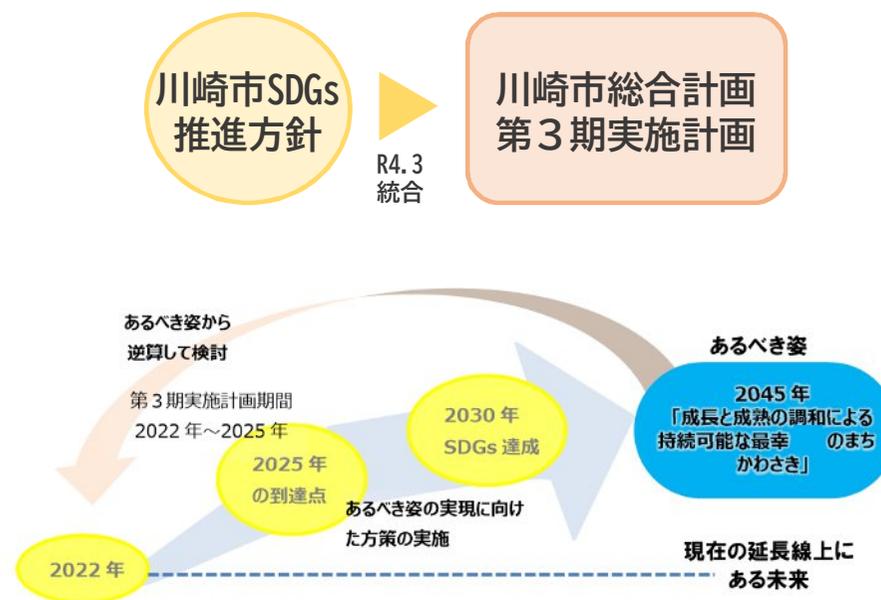
- 本『進め方』は、私たち市職員のSDGsへの向き合い方や、自分たちの事務事業への組み込み方に関する「考え方」や「具体例」を示したものであり、**職員の業務遂行の手引書**となるものです。

(2) 「川崎市総合計画」への統合

- 本市は、平成31（2019）年2月に「川崎市SDGs推進方針」を策定し、当該方針を「**川崎市総合計画第3期実施計画（以下「総合計画」）（R4.3策定）**」に統合しました。
- 本市は現在、川崎市のSDGs取組（以下「**かわさきSDGs**」）は、**総合計画のすべての事務事業をSDGsのゴールと関連づける**とともに、**総合計画と一体的に進行管理**を行っています。

(3) SDGsの取組期間

- 2016年から2030年までの15年間



川崎市総合計画第3期実施計画（P65）概念図

2 概要・目的②

(4) 「SDGs未来都市」の選定

- 本市の持続可能な社会の実現に向けた取組が国から評価され、令和元（2019）年7月、「**SDGs未来都市**」に選定されました。また、令和4（2022）年3月には**川崎市第2期SDGs未来都市計画（2022～2025年）**を策定しました。

(5) 「かわさきSDGsパートナー」と「川崎市SDGsプラットフォーム」の設立

- 本市はSDGs未来都市として、令和3（2021）年3月、川崎市SDGs登録・認証制度「**かわさきSDGsパートナー**」をスタートし、同時にパートナー同士をつなぎ新たな取組の創出を行う「**川崎市SDGsプラットフォーム**」を設立しました。
- 現在、パートナー向けの具体的な支援事業として、**かわさきSDGs大賞**、**分科会制度**、**フォーラム・セミナー**、**ポータルサイト**などを運用しています。
（詳細は後段の**附属資料**参照）



2 概要・目的③

(6) 「かわさきSDGsパートナー」制度

○ パートナー数

令和7（2025）年2月末時点のかわさきSDGsパートナー数は**3,416者（全国最大規模）**

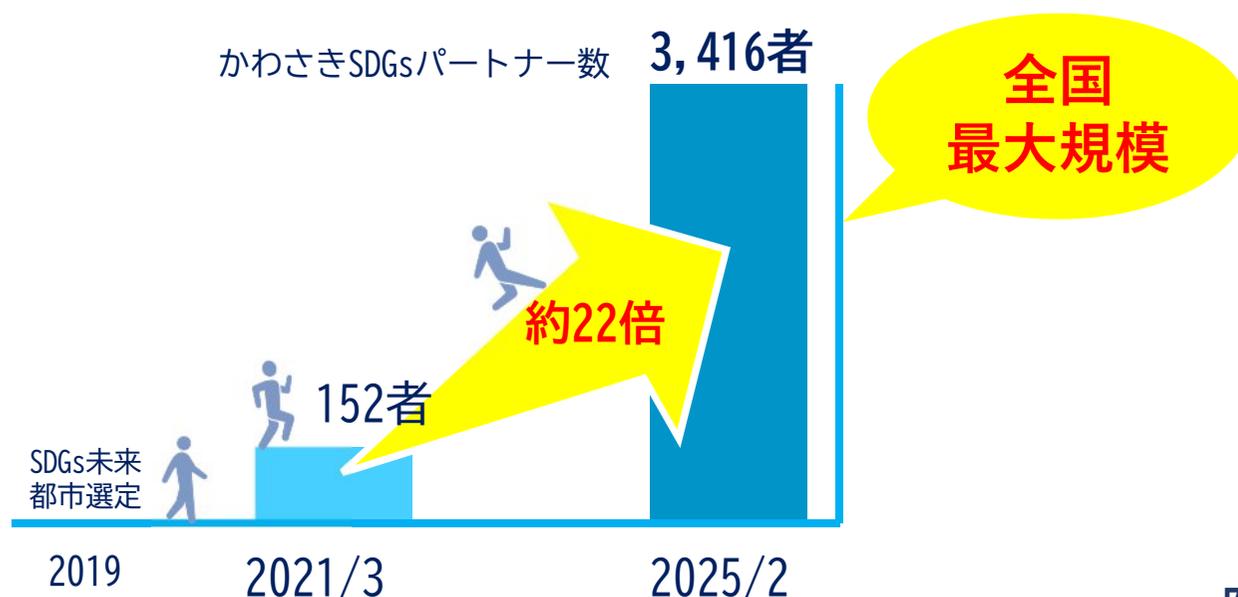
第1段階：**登録（パートナー）**：SDGsの達成に向けて取り組むことの意味表示（宣言）
 第2段階：**認証（ゴールドパートナー）**：SDGsへの取組の自己評価・今後に向けた**目標設定**

○ 登録・認証のインセンティブ

- ・川崎市SDGsプラットフォームへの参加（SDGs大賞や補助金制度、分科会制度、フォーラム・セミナー等への参加、情報発信等）

○ 認証のインセンティブ

- ・市融資制度「**SDGs・脱炭素化取組支援融資**」による信用保証料補助。
- ・市入札契約制度の「**主観評価項目制度**」における加点。



2 概要・目的④

(7) 「川崎市職員脱炭素・SDGs自主行動宣言」

- 本市は、令和5（2023）年度より、庁内で実施したアイデア提案から全職員投票結果を踏まえて決定した「川崎市職員脱炭素自主行動宣言」を行ってきました。
- さらにこれをバージョンアップし、**令和6（2024）年4月**から「**脱炭素・SDGs自主行動宣言**」として、脱炭素及びSDGsの双方の推進を全庁で進めています。

■ 宣言文 要旨（SDGs部分）

- ① 経済・環境・社会の**3側面**を意識した施策推進
- ② SDGsを踏まえた**情報発信・プロモーション**を意識した施策推進
- ③ SDGsを踏まえた庁内業務の**連携・改善**の促進
- ④ SDGsを踏まえた市民・事業者との**協働・連携**の促進
- ⑤ 人権配慮（性別、国籍、障害などへの配慮）や環境配慮など**基本的なSDGs配慮行動**の実践



3 位置づけ

本『進め方』の位置づけ

- 本市は総合計画のすべての事務事業をSDGsのゴールと関連づけました。私たち職員は日々の所管事務事業に取り組むに当たり、SDGsの本質を理解したうえで進める必要があります。
- このため、本『進め方』は「職員がSDGsの本質を理解・意識すること」及び「職員がSDGsをツールとして使いこなすこと」を促進するための、考え方や具体的な事例等を示した「手引書（目安・ツール）」の位置づけとなります。
- 次章（第1章）では、SDGsの本質と使い方について説明します。

「川崎市総合計画（第3期）」は、かわさきSDGsの達成に直結する「行政計画」



「川崎市庁内SDGs取組の進め方」は、職員がSDGsの本質を理解し、SDGsをツールとして使いこなすための「手引書」



Column 1 SDGsの次の議論って？

- 2016～2030年为目标期間であるSDGsですが、その前は**MDGs**（ミレニアム開発目標）という目標が掲げられていました。
- MDGsでは、貧困対策など8個の目標が掲げられ、多くの成果を出しましたが、同時に多くの課題も残り、それらを解決するためにSDGsが掲げられました。
- そして近年、2024年9月22日に開催された**国連未来サミット (Summit of the Future)**では、グローバル・デジタル・コンパクトと将来世代に関する宣言を含む「**未来のための協定 (Pact for the Future)**」が採択されました。
- この協定において、国連総会の支援の下、**ハイレベル政治フォーラムを2027年9月に開催し、そこで、2030年以降の持続可能な開発をどう進めていくかを優先事項として検討すること**が盛り込まれました。



※2 「Pact for the Future, Global Digital Compact and Declaration on Future Generations (SUMMIT OF THE FUTURE OUTCOME DOCUMENTS)」(United Nations 2024.9)

第1章 SDGsの『本質と使い方』



うっ...



Check!

それだけではない！



SDGsはあたりまえの時代に

100%

全国で持続可能な
開発のための教育
に取り組んでいる
学校の割合

81%

SDGs経営実践企業
のうち「効果あり」
と回答した割合※b

※b かわさきSDGsパートナー企業向けSDGs経営
実態調査アンケート（2023. 6. 川崎市）

90%

SDGsに関する
国民の認知度※a

※a 持続可能な開発目標（SDGs）実施指針
改定案（2023. 11. 外務省）

66%

川崎市内の中小企業
におけるSDGs経営の
実施割合※c

※c 川崎市の中堅・中小企業経営
実態調査レポート（2023. 1. 川崎市）

2 多角的な目線で見えたSDGs①

(1) 「行政目線」で見えたSDGs～本市の立ち位置～

- SDGsの考え方や取組は、総合計画に掲げるめざす都市像「**成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき**」と同様の方向性であるため、川崎市SDGs推進方針と総合計画（第3期実施計画）を**統合**しました。
- 本市は**すべての事務事業**とSDGs取組としての関連づけを明確にするとともに、**総合計画と一体的に進行管理**を行っています。

(参考) 「SDGsスタディパネル」

・SDGsスタディパネルは、17のSDGsゴールごとに、関連するキーワードや169のターゲット間の関係性がわかりやすくまとめられた学習ツールです。

(出典：法政大学川久保研究室)



(参考) SDGsの超基礎 ～最低限把握したい事項～

- ・SDGs：Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標
- ・平成27（2015）の国連サミットで全会一致で採択された**世界共通目標**
- ・17のゴール、169のターゲット、231の指標（重複を除く）から構成
- ・**経済・社会・環境の3側面**の取組を総合的に推進
- ・取組期間は**2016～2030年の15年間**
- ・2023年から**後半フェーズ**



2 多角的な目線で見えたSDGs②

(2) 「市民目線」でみたSDGs

- 市民目線では、SDGsを全体として意識するよりもむしろ、SDGsを意識せずに、**ジェンダー・平等や貧困など個人で抱えている問題に直結**しています。
- 他方、SDGsという概念自体は一般的に普及し**約90%の国民が認知**※3していますが、気候変動や水環境など地球規模の課題については、**個人で解決できない話**、あるいは**自分と直接関係ない話**として捉えられることも多く※4、SDGsの市民理解の促進をさらに深めていく必要があります。

(3) 「学校教育目線」でみたSDGs

- 令和3（2021）年5月、文部科学省は、ESDに関する直近の国際的動向や学習指導要領の改訂も踏まえ、**SDGsを実現するための行動、実践を促進するための手引き**として「**持続可能な開発のための教育（ESD）推進の手引き**」を改訂しました。
- 現在、**全ての市立小学校で、SDGsの達成につながる様々な学習に取り組んでいます。**



平間小学校：SDGs教育の状況

中には
保護者よりも
子どもの方が
SDGsに詳しい
なんてケースも

※3 「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針改定案」（2023.11.外務省）

※4 World Now「市民が参加するSDGsが社会課題に新たな視点を与える」（GLOBE+ 2018.1）

2 多角的な目線で見えたSDGs③

(4) 「経営・投資目線」でみたSDGs (≒ESG※)

※ 本『進め方』では、ESGとSDGsとの関連性・親和性が深いことを「≒」と表現

○ ESG (≒SDGs) と国際市場

- ・ ESG (Environment (環境), Social (社会), Governance (企業統治)) は、SDGsよりも前に存在する考え方で、主に企業や投資家の間で使われる用語です。
- ・ ESGとSDGsのとの関連性は深く、多くの企業が持続可能な経営手法としてESGに取り組み※5、今や**国際市場ではESG (≒SDGs) は投資・ビジネスの大前提**になっていると考えられます。

Column 2 なぜESG (≒SDGs) が投資・ビジネスの大前提に？

国際市場は、気候変動（脱炭素）などを背景に、

- ・ 2006：国際ルールとして、**投資判断**にESGを組み込むことを第1原則化
- ・ 2013：国際ルールとして、**保険事業**にESGを組み込むことを第1原則化
- ・ 2019：国際ルールとして、**銀行分野**でパリ協定（脱炭素）に資することを第1原則化



投資・保険・銀行の3分野でESGが**第1原則**となり、市場に決定的に影響※5。
2019年以降、世界的企業や国内企業でESG (SDGsとりわけ脱炭素) の取組が急激に加速化。

※5 「ESG投資を巡る課題」 (財務省資料：早稲田大学経営管理研究科根本直子教授 2021.6)

2 多角的な目線で見えたSDGs④

(5) 「中小企業経営目線」でみたSDGs

- 中小企業経営にとってのリスクとして、顧客から「**注文が減る**」、顧客が「**購入しなくなる**」などが挙げられます。
- テレビ・新聞・ネットニュース等でESG（≒SDGs）に関する企業関連記事を目にしない日はなく、前述のとおり、国際市場ではESG（≒SDGs）が投資・ビジネスの大前提となっています。
- **大手企業等の取引先によるサプライチェーンの強化に向けた要請**は、脱炭素や循環経済（サーキュラーエコノミー）、人権問題、ジェンダーなど多岐にわたっているため、**中小企業が事業を継続していくためにもSDGsへの対応が迫られています**※6。



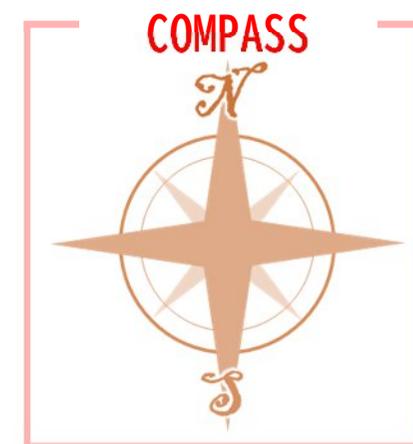
※6 「SDGs経営ガイド」（経済産業省 2019.5）

3 「SDGs」の本質と使い方①「コンパス」

(1) SDGsは「コンパス」である

- SDGsは「**誰一人取り残さない**」をキーワードに、持続可能な社会を目指すために**必要な要素がすべて詰まっています**。
- このため、私たちが事業を進めるうえで考慮すべきことが、「**17ゴール**」と「**169ターゲット**」という形で**明確に示されています**。
- SDGsの17ゴールと169ターゲットを踏まえながら、**既存事業の見直しや新規事業を検討**することで、当該事業のSDGs位置づけや、他のゴール・ターゲットへの繋がりなどが確認でき、**事業の改善・連携が進めやすくなります**※7。

SDGsは職員が考慮すべきことを明示してくれる
コンパスとして機能し、**事業の改善・連携**などに役立ちます



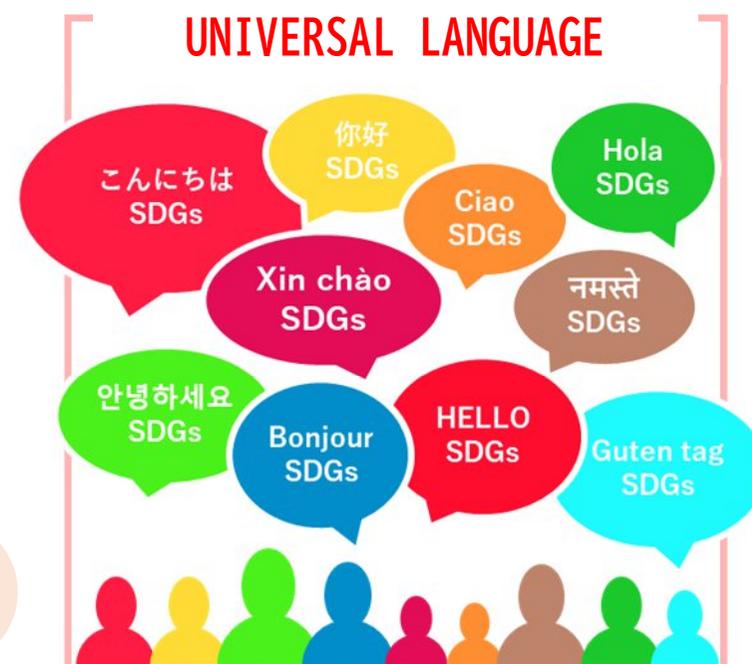
出展：SDGs Compass (SDGsの企業行動指針 - GRI・UNGC・WBCSD)

※7 SDGs Compass (SDGsの企業行動指針 - GRI・UNGC・WBCSD)

(2) SDGsは「共通言語」である

- SDGsは先進国・途上国を問わず**世界中の国々**で取り組まれており、政府、地方自治体、企業、NPO団体、市民など**あらゆる主体が取り組んでいます**。
- 例えば、本市が脱炭素化（ゴール13関連）の取組を発信した場合、それがSDGs解決の取組であることが、市民や他地域、他国に世界共通の言語として**同様の認識**で伝わります。
- また、**SDGsは今や投資、保険、銀行分野における重要な判断基準**であり、**世界中が注目しているため、SDGsを使って業務を効果的にPR**することができます。

SDGsという**共通言語**※8で自分たちの業務を発信することで、効果的に**PR**することができます



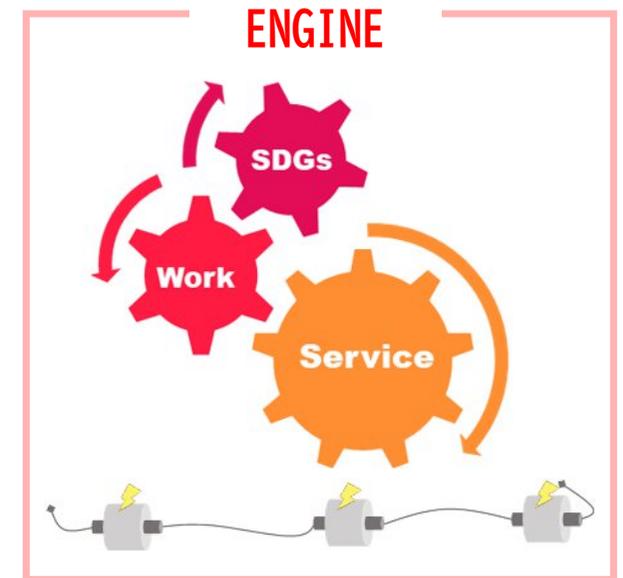
※8 「特集 SDGs（持続可能な開発目標）と科学技術イノベーションの推進」（文部科学省 2019.9）

3 「SDGs」の本質と使い方③「エンジン」

(3) SDGsは「エンジン」である

- SDGsは国内外において高い関心と理解が進んでいるため、（経費・人的リソース検討は別途必要ですが、）事業実施にあたり、**SDGsを意識した取組であれば正当性が説明しやすく、庁内外の合意形成も図りやすくなります。**
- また、行政施策には「脱炭素」「地域包括ケア」「パラムーブメント」など**全庁に渡る分野が複数ありますが、SDGsはそのすべての要素を包括的に含むため、全庁業務をSDGsで横串を指すことで、事業の統合・連携が図られやすくなります。**
- このように、**SDGsは地方創生の原動力（エンジン）**として、事業の一層の充実・深化につなげることができます※9。

SDGsは**事業の合意形成**や、**事業の統合・連携**を進めやすくする**エンジン**として機能します



※9 「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改訂版）」（内閣府 2020.7）

4 「SDGs」のカスタマイズ

- SDGsは「カスタマイズ」できる
 - SDGsは単なる「ロゴマーク・アイコン」ではありません
 - ・SDGsを活用することで、業務量を増やさずに仕事の質をレベルアップさせることができます。
 - ・そして、世界の共通言語であるSDGsを、地域レベルの課題解決に適用するためには「ローカライズ」と呼ばれる翻訳作業が必要であるとされています※10。
(本市は、SDGs推進方針を総合計画に統合し「かわさきSDGs」として取り組んでいます)

SDGsはローカライズが必要です。
次章（第2章）以降では、
SDGsをカスタマイズし、庁内事務事業を
「プロモーション」「改善・連携」
する方法や事例等を説明します

※10 「SDGsの実践 自治体・地域活性化編」（村上周三 2019.4）



5 本『進め方』の狙い①

本『進め方』の狙い

	段階	状態	川崎市の状況
<p>少し前 (2020年頃)</p>	<p>第1段階</p> 	<p>SDGsの存在を 認知・理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの職員はSDGsの存在を認知し、SDGsの定義や17ゴールのロゴマーク等をなんとなく把握。 <p>□ゴマーク くらいなら 知ってるよ</p> 
<p>多くの職員の 現状</p>	<p>第2段階</p> 	<p>SDGsを業務に 位置づける</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画（3期）に全事務事業をSDGs取組と位置づけ。 全職員がSDGs取組を実施。 <p>自分の業務は SDGs取組 なんだね</p> 
<p>本『進め方』の 狙い</p>	<p>第3段階</p> 	<p>SDGsの本質を理 解しツールとし て活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの本質の理解し、積極的に活用している部署・職員はそれほど多くない状況。 <p>第2章へ</p> 

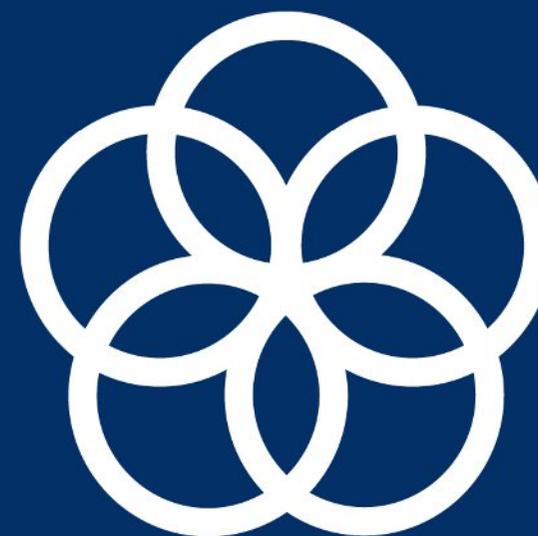
庁内だけでなく、
多様な主体との連携が強化され
ゴール17「パートナーシップ」
からSDGs達成に向かう

庁内取組の
改善・連携や
プロモーションが進む

SDGsの本質
を理解する
職員が増える



17 パートナーシップで 目標を達成しよう



第2章 庁内事務事業をSDGs視点で『プロモーション』

川崎市制100周年（2024年SDGsトレインポスター（一部加工）（※職員デザイン））

SDGsトレインとは？

SDGsの認知度向上に向けて、東急グループと阪急阪神ホールディングス株式会社が東西で協働運行を行っている特別企画列車です。
川崎市はSDGsの普及啓発を図るため、東急グループが運行する「SDGsトレイン」に本市の取組を紹介するポスターを2020年から掲出しています。



川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

100th

2024年、川崎市は市制100周年

京急、JR東日本、東急、京王、小田急——。
市制100周年。この歴史的な瞬間に、
川崎のまちを支え続けてきた旅客鉄道が、川崎駅に集結！
これまでも、この先100年も、タッグを組んで、
皆さんと一緒に、走り続けていきます。



1 SDGsを「シティプロモーション」に活用①

(1) 「SDGs×シティプロモーション」

- 前述のとおり、SDGsは共通言語であり、またサステナビリティを重視する考えが**世界中で認識・注目**されています※11。
- 事業推進にあたり**SDGsを意識**することで、当該事業が持続可能な社会にむけた取組であることをPRでき、**国内外のSDGs関心層の目に映り、市内外の様々な主体の注目・関心**を集めやすくなります。

(2) 「チラシにロゴマークを貼るだけ」ではない

- SDGsを使ったプロモーションというと、多くの職員が**SDGsの17ゴールのアイコン**を広報チラシ等に貼り付けることを思い浮かべるかもしれません。
- SDGsアイコンによる明示は有効な手段の1つではありますが、それだけでなく、例えば「**文脈中にSDGsを明示する**」「**事業計画・内容にSDGsの考え方を明示する**」など様々な工夫を行うことで、SDGsをより有効に活用することができます。



市政だよりでは、特集記事に関連するSDGsゴールを明示しています。

※11 「2022経済展望とサステナブルな資本主義の道筋」（経団連会長スピーチ 2021.12）

1 SDGsを「シティプロモーション」に活用②

(3) 「シティプロモーション」としての活用イメージ

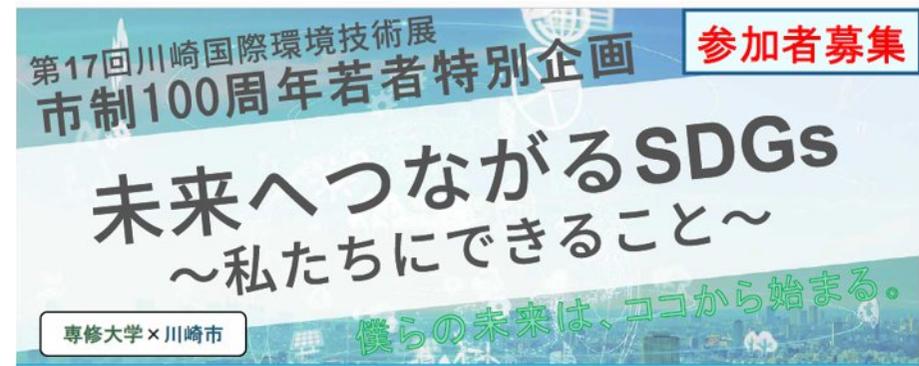
- 行政施策や事業者連携の事業等を情報発信するにあたりSDGsを意識して発信することで、当該取組とSDGsとの関連をより深く印象づけることができ、市内外のSDGs関心層への注目・関心を集めやすくなります。

教育だよりかわさき第131号 (2024. 11)

川崎市指定管理施設(カルッツかわさき)「SDGsフェスティバルチラシ」等(2024. 3)※ファンズスポーツクラブ川崎提供



第17回川崎国際環境技術展 川崎市市制100周年「若者」特別企画チラシ一部(2024. 11)



2 SDGsを「インナープロモーション」に活用①

(1) 「インナープロモーション」とは

- 「**インナープロモーション**」とは、組織のブランド価値や理念について職員への理解醸成を図ることで、**職員の意思統一**や**意欲向上**を図るための**庁内向けのプロモーション活動**のことです。組織の方針と職員の思いが同じ方向に向くことで、**仕事の質と効率の向上につながります**。

(2) 「SDGs×インナープロモーション」

- **本『進め方』はインナープロモーションの一環**であり、SDGsを通じた職員の**意思統一**や**仕事の魅力**を感じていただき、**やる気UP**につなげていくことを目指しています。
- 令和5（2023）年11月には、環境局と総務企画局の**庁内会議を合同開催**し、**脱炭素とSDGsの双方の意識付けを高める取組**を進めるなど、会議連携によるインナープロモーションの取組も行いました。

令和5（2023）年11月開催 令和5年度第2回川崎市環境行政・温暖化対策推進総合調整会議 令和5年度第3回川崎市持続可能な開発目標（SDGs）推進本部 合同会議
第2部 専門家（高木超慶應義塾大学特任助教）によるビデオ講演「SDGsの捉え方・認識をより深めよう！」の様子



2 SDGsを「インナープロモーション」に活用②

(3) 「インナープロモーション」事例①（若手職員SDGs研修）

- ・研修テーマ：**『SDGsで仕事を横断！』**（R6.7.5）
- ・申込者：**118人**（会場63人、オンライン55人）
- ・他都市視察：**5自治体（11人）**

(特徴)

- ・総企、経済、環境、教育の**4局連携**によるSDGs事例紹介
 - ・複数自治体（**5自治体**）が本研修を視察
- ⇒ **その後、足立区、板橋区、弘前市**において**川崎モデル**※と銘打たれ**同研修が3回開催**。（※『SDGsで仕事を横断』のテーマ設定が全国でも珍しいため）



ポスターには「若手職員SDGs研修」のタイトルがあり、対象者、日時、会場、定員、プログラム、講師の情報が記載されています。講師として高木超氏の名前とプロフィールが紹介されています。

(実施結果)

- ・参加者の**97%**が「自身の思考の変化に繋がった(やや繋がった)」と回答。
- ・**教育政策室**の講義が特に受講者に刺さり、受講者から、「近い将来、SDGsを当たり前で学んできた子達が社会にでてくる。今の大人がSDGsをちゃんと理解しないと恥ずかしい。」などの声が多く挙がった。



Column 3

参考事例（足立区、板橋区、弘前市による「川崎モデルSDGs研修」2024）

- 前ページでも触れましたが、川崎市が令和6（2024）年7月に行った川崎市若手職員SDGs研修では多くの他都市職員の視察がありました。
- その後「足立区」「板橋区」「弘前市」において、川崎市モデルのSDGs研修が行われました。

こんな研修

（川崎市の研修スライド）※実施自治体によってスライドは異なります

- 1 今の仕事と関連性が低い部署はどこ？
自分の仕事の中で
関連性の低い局区はどこ？
・ 今から **3分間**
- 2 今の仕事と関連性が低い部署はどこ？
仕事内容を調べよう
・ 今から **1.0分間**
- 3 仕事を繋げてみよう！
「グループの仕事」や
「調べた仕事」を**繋げよう！**
・ 今から **2.0分間**
・ 予算や難易度は気にしない
- 4 SDGs観点での評価をしてみよう！
そのアイディアは
SDGsの何番のゴール？
・ 今から **7分間**
複数選択も可

川崎モデル研修を自分の自治体で
実際にやった感想

普段では機会がない職員同士が
繋がるきっかけになったのが
最大の成果です！
「庁内連携が大切」と分かりつつ…
なかなか他部署の業務に目を
向ける機会が無いなかで、
貴重な一歩になりました！



前半では「自分ごと」の
意識・気づきを、後半では
実務的な業務立案を学べ、
SDGsローカライズを
推進している係としても、
受講生にとっても、大変
実のある研修となりました！



他の課／事業との連携を
考える、という貴重な機会でした！
関連性の低い部局を探すのが大変
でした！ひとつの業務でも、
いろんな部局と関わり合っている
のだと改めて感じました！



3 SDGsを「インナープロモーション」に活用③

(4) 「インナープロモーション」事例②（プチ研修『SDGsクエスト』）

（一般公開中）



SDGsクエストとは？

- ・ LoGOフォーム機能を活用したアンケートついでにプチ研修『SDGsクエスト』を実施（全国的に珍しい取組）
 - ⇒ 令和6（2024）年10月に実施した職員アンケートの最後の質問で「SDGsクエストをやる」を選択
 - ⇒ シミュレーションゲーム風の画面に遷移し研修スタート！（受講者約2,700人）※SDGs未来都市（206都市）にも案内し55者がプレイ



受講者の声（約400意見）

- ・新鮮
- ・新感覚
- ・目から鱗
- ・記憶に残る
- ・今までにない
- ・ナイストライ！
- ・ゲーム感覚でよい
- ・ナイスアイデア！
- ・川崎市も変わったね！
- ・遊び心・ユーモアがある
- ・eラーニングより断然良い
- ・うちの研修にも応用できそう
- ・こんな試行をどんどんやるべき など

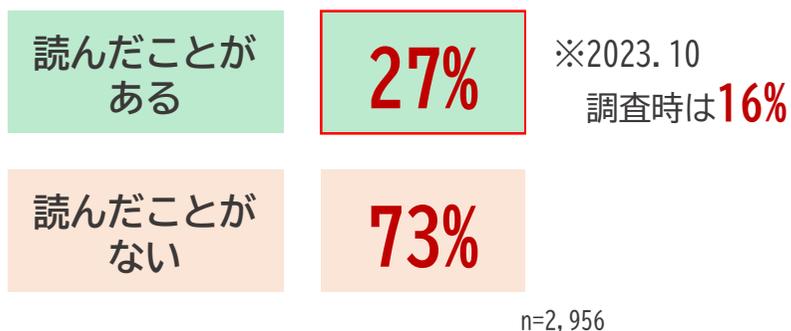
受講者の94%が「とても良い(まあまあ良い)」と回答

4 川崎市職員SDGs意識調査結果

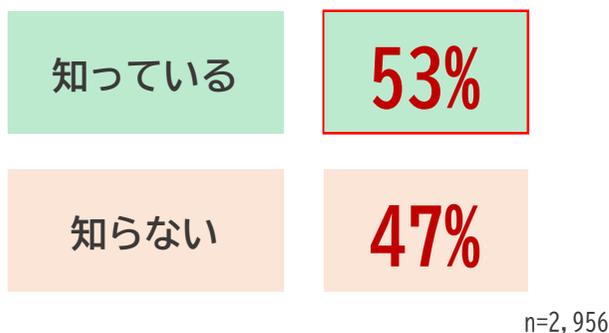
市職員SDGs意識（2024.10アンケート調査結果）

- 実施対象 川崎市職員
- 実施期間 令和6（2024）年9月25日～10月31日
- 回答者数 2,956人

Q. 本『進め方』を読んだことがあるか？



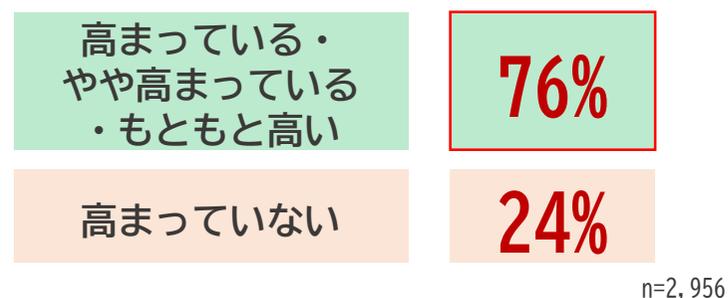
Q. 総合計画において、すべての事務事業をSDGsと関連付けていることを知っているか？



Q. R6.4に開始した『川崎市職員脱炭素・SDGs自主行動宣言』を知っているか？



Q. 自身の数年前と比べて、自身のSDGs意識が高まっているか？



Column 4

全国市区・SDGs先進度調査 (ランキング) で川崎市が全815市区中6位にランクイン

- 日本経済新聞社が編集・発行する地方創生・地域経営の専門誌「日経グローバル」は、全国815市区を対象に「全国市区・SDGs先進度調査」を実施 (隔年ペース)。
- 令和6 (2024) 年秋の第4回調査では、**川崎市は全815市区中で第6位にランクイン。SDGs取組を先進的に進めている都市として高く評価。**

総合順位 (前回)	自治体名	得点
1位 (前回2位)	豊田市	80.45点
2位 (前回4位)	京都市	79.17点
3位 (前回5位)	北九州市	77.80点
4位 (前回1位)	さいたま市	77.57点
5位 (前回5位)	相模原市	77.30点
6位 (前回23位)	川崎市	77.08点
7位 (前回13位)	宇都宮市	76.52点
8位 (前回7位)	大阪市	75.65点
9位 (前回3位)	福岡市	74.80点
10位 (前回14位)	札幌市	74.47点

(評価方法)

国の公表データ59指標と、
独自調査 (アンケート) 44問
に基づく評価



第3章 庁内事務事業をSDGs視点で『改善・連携』

「第18回マニフェスト大賞」プレゼン発表時の川崎市発表資料（一部抜粋）



そこで考えたのが

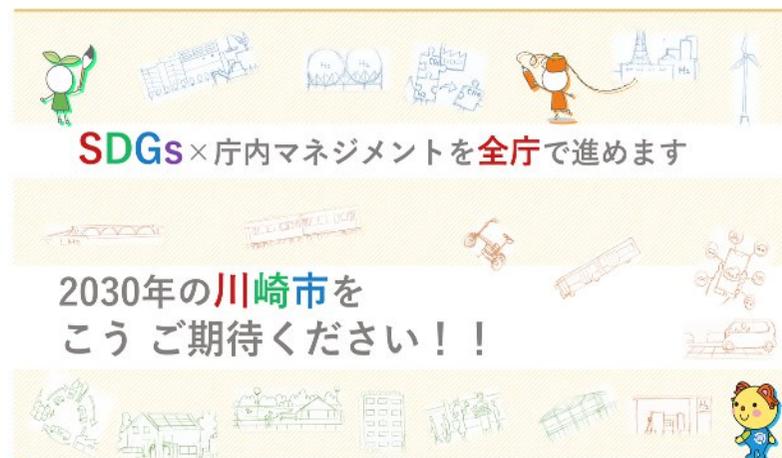
『Kawasaki City SDGs Guidance ~ 川崎市庁内SDGs取組の進め方 ~』

(一言で言うと)
SDGsを活用して庁内業務をプロモーション・改善・連携するための、
庁内マネジメントに特化した独自計画



POINT
特徴

- 1 全国自治体初の独自計画！
- 2 委託費ゼロ・完全職員自作！
- 3 製作期間4か月の最短合意形成！
- 4 策定と同時に20以上の成果！
- 5 理論・エビデンスを重視！



マニフェスト大賞とは

- ・マニフェスト大賞は、議会、首長、市民等による地域の民主主義向上に資する優れた取組を表彰する、**日本最大級の政策コンテスト**です。
- ・優れた取組が広く知れ互いに競いあう「**善政競争**」の拡大を目的としています。
- ・本市は**応募数3,088件**の中から、第18回マニフェスト大賞『**優秀賞(40件)**』及び『**プレゼンテーション特別賞(1件)**』をダブル受賞しました。
(主催：マニフェスト大賞実行委員会、
共催：早稲田大学マニフェスト研究所、毎日新聞社)

1 SDGsを「事業改善・連携」として活用①

(1) 「SDGs」で自分の仕事を振り返る

- 所管業務について、SDGsのゴール・ターゲットに照らして振り返ることで、**新たな気付き**につながる可能性があり、**日常的に意識**することが有効です。

👉 ありがちな例



うちの部署はゴール3（健康と福祉）を頑張ってます。**他のゴールは他の部署でやってるから問題ない**ですよ？

事業を進めれば廃棄物やCO₂が発生しますし、雇用も関係します。
事業を進めるなかで、**ゴール3以外にも様々なゴールが密接に絡んでいることを意識する必要があります。**



👍 良い例



うちの部署はゴール3（健康と福祉）を主に進める部署ですが、**関係部署と連携**して、事業ごみを焼却処分から**再資源化処理へと切り替え**ました。
さらに**障害者雇用**も積極的に進めています。

複数のSDGsゴールを意識している点や、SDGsを使って**関係部署との事業連携**につなげている点がすごく良いですね！



(2) 「SDGsウォッシュ」に要注意

その取組、「**SDGsウォッシュ**※12」になっていませんか？

SDGsウォッシュとは・・・

- ・ SDGsに配慮しているように見せかける（**うわべだけ**）
- ・ 実態以上にSDGsに配慮しているようにみせかける（**過剰アピール**）
- ・ 良い情報のみを切り出す（**印象操作**） など



SDGsは今流行りで注目されているから
とりあえずロゴや自然の写真を貼っておこう

ロゴを貼っているだけの
表面的な企業

関係のない写真を使って
SDGsアピールをしている

ユーザーや投資家



イメージダウンや不買運動へ…

自分達の取組が**うわべだけのSDGs取組（SDGsウォッシュ）**につながっていないか再確認しよう

※12 「SDGs Communication Guide」（株式会社電通 SDGsコミュニケーションガイド作成委員会 2018.6）

2 SDGsを意識した「事業改善・連携」の事例①

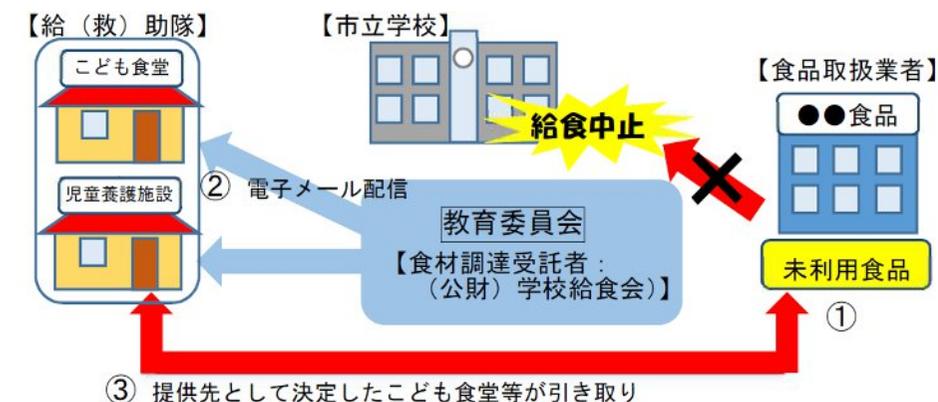


(1) 事例①（複数SDGsゴールに繋がる事例）

- 市立学校の臨時休業等に伴い、**学校給食を急遽中止**したことによって、給食食材として利用できなくなってしまう食品（**未利用食品**）が発生することがあります。
- こうした、行き場を失ってしまった食品を、「レスキュー」して、こども食堂等（「給（救）助隊」）の食材に活用してもらう「**給食食材レスキュー“レス給（キュー）”**」をSDGsの取組の一つとして実施しています。
- この取組では、市内において地域の子育て支援等を目的として**子どもに食事を提供する活動団体に提供**しています。
- **令和6（2024）年度取組実績**（※2025年1月9日時点）

- ・ 提供件数 : 3件（3日間分）
- ・ 提供した未利用食品量 : 食材154.6kg、生クリーム1L
- ・ 主な未利用食品発生原因
断水や停電による臨時休業（休校）に伴う給食停止 など

未利用食品提供までの主な流れ



2 SDGsを意識した「事業改善・連携」の事例②

(2) 事例② (経済労働局×環境局×総務企画局の連携)



○ 令和6(2024)年度の川崎市国際環境技術展において、SDGsと連携した様々な企画を実施。

若者×SDGs 未来へつながるSDGs ～ 私たちにできること ～ (市制100周年「若者」特別企画)

経済

① SDGsカードゲーム

学生と企業の参加による、持続可能な世界の実現に向け、**考え・体感するゲーム**を実施

【参加者】

- (学生) 専修大、中央大、横浜市立大などの**学生15名**
- (企業) 技術展出展企業など**10社**



② 学生ピッチ

「身近なSDGsの取組」をテーマに**橘高校・専修大・中央大**の学生がコンテスト形式で発表

<市長賞> 専修大

「東京メータ株式会社でのインターン活動にて実施した小学生向け模型プログラミング教材を用いた出張授業の取組について」

<オーディエンス賞> 中央大

「中央大学SDGsアクションプランアワードの参加学生による学生・地域・行政が連携して運営する「運動×食」の場の提案について」



脱炭素×SDGs 中小企業の安定的な人材確保のために「SDGs・脱炭素」で他社と差をつけよう!

環境

(概要)

- ・中小企業の**人材確保戦略**としての「SDGs・脱炭素」の重要性を考えるセミナー
- ・脱炭素経営に取り組む中小企業を後押しするための**支援メニュー紹介**



マッチング×SDGs

経済

出展者と来場者 (SDGsパートナー) とのマッチング

(マッチング例)

出展者(中央大学)

村内の廃材等の地域資源を活用した製品開発・販売 ↓↓

来場者(株式会社SKLO) (SDGs大賞2024優秀賞)

革の端材等のアップサイクルや地域でのワークショップを実施



(3) 事例③（総務企画局×全庁の連携）

- **総務企画局**では、3,000者を超えるかわさきSDGsパートナーに対し、定期的に情報発信を行っており、**令和5（2023）年度から**庁内のSDGs関連事業と連携し、**各局区が進めるSDGs関連事業に関する情報発信**を進めています。（R6.4.1～R7.2.25 配信件数：83件（12局区））

令和6年度の実績・効果（例）

事例	時期	配信した事業	事業所管	本配信効果	事業全体実績
1	2024年4月	脱炭素アクションみぞのくち新事業推進補助金	環境局	1者	1者
2	2024年5月	緑化フェア・クラウドファンディング(花苗育成セット)	建設緑政局	1者	4者
3	2024年5月	「海の豊かさを守ろうfromかわさき」分科会イベント	総務企画局	26人	30人
4	2024年7月	市制100周年記念事業「クリーンアクションかわさき」への物品協賛のお願い	環境局	3者	4者
5	2024年7月	かわさきSDGsパートナー制度に関するアンケート	総務企画局	201者	201者
6	2024年10月	かわさき電子図書館の協賛者を募集	教育委員会事務局	3者(※問合せ件数)	※複数者と調整中
7	2024年10月	平間SDGsフェスの出前授業・ブース出展・掲示物参加の協力をお願い	平間小学校	22者	23者
8	2024年10月	川崎市総合計画の改定に向けた、川崎のこれからを描く「ミライ会議」参加者募集	総務企画局	9人	120人(※募集定員)

第4章 市内SDGsの『先進事例や身近な事例』



Green For All
KAWASAKI 2024

全国都市緑化 かわさきフェア

秋開催!

2024年10月19日(土)
～11月17日(日)

2024年、川崎市は市制100周年をむかえました。
「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」を
テーマに全国都市緑化かわさきフェアを開催します。
かわさきフェアを通じてSDGsの達成に向けた取組を推進します。

2025年も開催!
春 3月22日(土)～4月13日(日)



川崎市
KAWASAKI CITY

全国都市緑化かわさきフェア（2024年SDGsトレインポスター（一部加工））



※写真はイメージです

1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」について

「かわさきSDGs」はすべての職員が主役

- 本市はすべての事務事業をSDGsゴールに関連づけており、**すべての職員がSDGs取組の主役**です。
- 本章では、**ほかの局区の職員への参考となる先進事例・身近な事例**を中心に紹介します。
(本市は、各局区においてSDGs観点で重要性の高い取組を進めていますが、本章はそういった視点ではなく、事業の「プロモーション」や「連携・改善」の参考となる事例を中心に紹介します)
- SDGsの本質を理解・活用する職員が増えることで、**庁内だけでなく多様な主体との連携強化**にも繋がっていき、**ゴール17「パートナーシップ」**からすべてのSDGsゴールの達成に繋がります。



SDGsの有用性は理解しましたが、忙しくてそこまで頭を回す余裕がありません！



最初は大変ですが、SDGsを日々意識することで、思考が徐々にレベルアップし仕事量を増やさずに仕事のクオリティを上げられます！

1 市内SDGsの「先進事例や身近な事例」①



(1) 事例① (教育委員会事務局+全市立学校)

○ 概要

- ・ **学校e～ね★サミット**では、「キャリア在り方生き方教育」の「わたしたちのまち川崎」の視点で教育活動を充実させ、様々な取組を実施。取組を学校間で交流し、地域へ発信しました。
(知って、関わって、好きになってもらう)

全市立学校で
取り組む

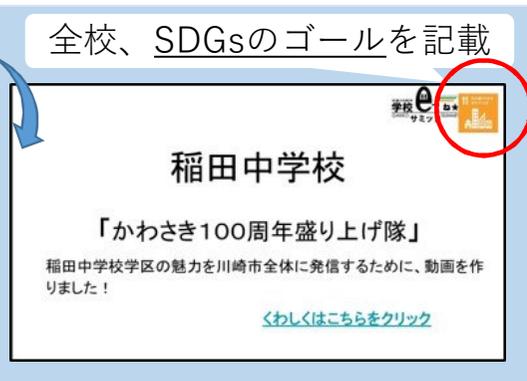
学校間で
交流する

地域へ
発信する

次の活動に
つなぐ

○ SDGsを意識した取組報告

- ・ **全市立学校 (179校)** の取組報告である各スライドには、**全てSDGsのゴールを明記**しました。
- ・ **GIGA端末の「交流サイト」**に、全市立学校の取組 (スライド) をまとめて**掲載**しました。
- ・ 題材テーマは多岐に渡り、**様々なSDGsゴール達成に寄与する取組内容**となっています。



GIGA端末「学校e～ね★サミット 交流サイト」

各学校の取組スライド

学校間交流 (他校の取組を知る)

全市交流会の様子

1 市内SDGsの「先進事例や身近な事例」②



(2) 事例② (平間小学校+地域)

- **平間小学校**では、令和元（2019）年からSDGsアクションを推進しており、はじめのうちは、「SDGsを知る」の段階から、⇒「SDGsで学ぶ」⇒「SDGsを広める」と、取組が発展していきました。
- 学校中にSDGsのロゴマークが増え、全校に浸透し、今では**日常の中にSDGsが当たり前になり、全学年で、「地域を巻き込むSDGsアクション」**を合言葉に学校の外に飛び出して活動をしています。
- 学校と地域を巻き込んだ様々な取組が評価され、令和2（2020）年度に**ジャパンSDGsアワード特別賞**を、令和5（2023）年度に**かわさきSDGs大賞（最高賞）**を、令和6（2024）年度に**ESD大賞文部科学大臣賞（最高賞）**を受賞しました。



平間小SDGs研究会（ポスターセッション）



平間小SDGs研究会（事例発表）



企業による出前授業の様子



平間銀座商店街サマーフェスタに参加

1 市内SDGsの「先進事例や身近な事例」③



(3) 事例③ (新城小学校+大学)

- **新城小学校**では、持続可能な新城のまちや社会の創り手を育てる教育を目指し、**SDGs教育全体構想**を掲げ、すべての教育活動で実践を積み重ねています。
- 普段の生活で子どもたちが取り組んでいる「マイSDGsチャレンジ」を募集し、「**取組が多いSDGsゴールと少ないゴール**」を視覚化・分析しました。
- 気候変動・環境・エネルギー問題などの取組が多いゴールに対し、**人権・平等・平和・福祉分野などの「取組が少ないゴール」に着目**し、明治大学との協働連携による取組として「**センサリーマップづくり※**」を進めました。
(※センサリーマップとは、感覚に過敏な人も生活しやすいように光や音などの感覚情報を表したマップのこと)
- こうした取組や着眼点が評価され、新城小学校は**かわさきSDGs大賞2023「優秀賞」**を受賞しました。



「取組が少ないゴール」に着目・分析し、センサリーマップという具体的な取組に繋がっているところが素晴らしいね



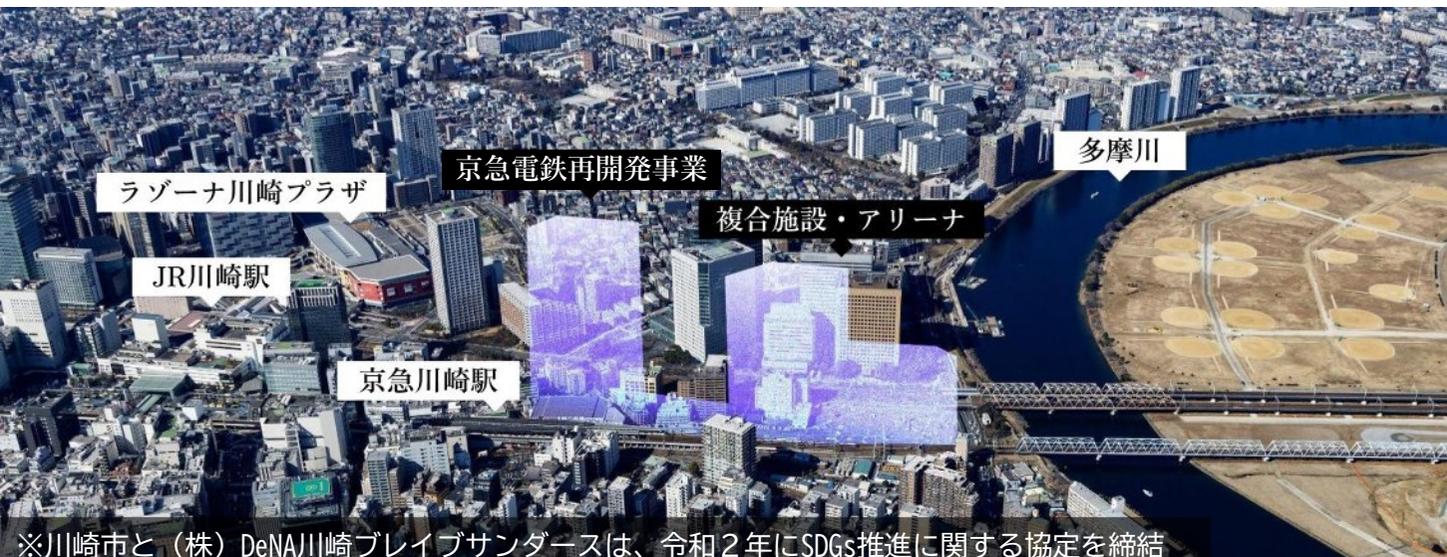
1 市内SDGsの「先進事例や身近な事例」④



(4) 事例④ (まちづくり局+民間企業)

- **まちづくり局**では、(株)ディー・エヌ・エー及び京浜急行電鉄(株)が進める「**川崎新！アリーナシティ・プロジェクト** (令和12 (2030年) 以降に開業予定)」を契機と捉え、事業の初期段階から、多様な関係者を巻き込みながら官民連携で効果的なまちづくりに推進しています。
- まちづくりの誘導の視点として、社会変容や多様なニーズを踏まえたまちづくりを進めることとし、ハード整備中心の「つくる」まちづくりだけでなく、エリアが抱える**多様な課題解決**や、**持続的にぎわい創出**に向け、**SDGsの理念に沿った**基本的・総合的取組を推進しています。
- また、アリーナに関しても、サステナブルな社会の実現に向けて、さまざまなテクノロジーを駆使しながら、ハード・ソフトの両面で「**SDGsの世界最先端拠点**」が目指されています。

©DeNA / Keikyu Corporation



※川崎市と(株)DeNA川崎ブレイブサンダースは、令和2年にSDGs推進に関する協定を締結

1 市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑤

(5) 事例⑤ (建設緑政局+全庁)



- **建設緑政局**では、**全国都市緑化かわさきフェア**を令和6（2024）年10～11月と、令和7（2025）年3～4月に2回開催します。
- 本市が一丸となって進めるかわさきフェアは、**単にゴール15番（陸の豊かさを守ろう）の達成に資する取組としてだけでなく、かわさきフェアを通じて、多くの市民・企業・全庁を巻き込み、連携・広がりを見せながら、新たな変化やレガシーを生み出しており、本『進め方』が示す「SDGsの本質」に沿った取組が、数多く全庁で行われています。**

市立南原小学校『協働の花づくり・花かざり』※全市立小中・特別支援学校で実施



市立川崎高校『壁面緑化協働プロジェクト』※富士見公園会場の壁面緑化を高校生がデザイン



1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑥



(6) 事例⑥ (環境局+全庁)

- **環境局**では、令和6(2024)年11月に「**かわさきイベントエコ化ガイドライン**」を策定しました。
- 本ガイドラインは、**庁内イベント**において**SDGs意識**を持ち、**積極的にごみの発生抑制・リサイクルに取り組むことをPR**することで、イベント自体の魅力向上を狙うものです。
- 本ガイドラインにはエコ化に向けた**ポイント**や**事例**などを示しており、**緑化フェア**の例では「**出店募集時にプラごみ排出量低減策の回答を必須とし選考時の判断基準の1つとする**」などの事例を掲載しています。

全国都市緑化かわさきフェアの掲載事例 (建設緑政局)

●緑化フェア

排出抑制の取組 (出店者)

出店募集時に、プラごみ排出量低減策の記載を必須とし、選考時の判断基準の1つとしている。



第1回みんなの川崎祭の掲載事例 (環境局)



1 市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑦



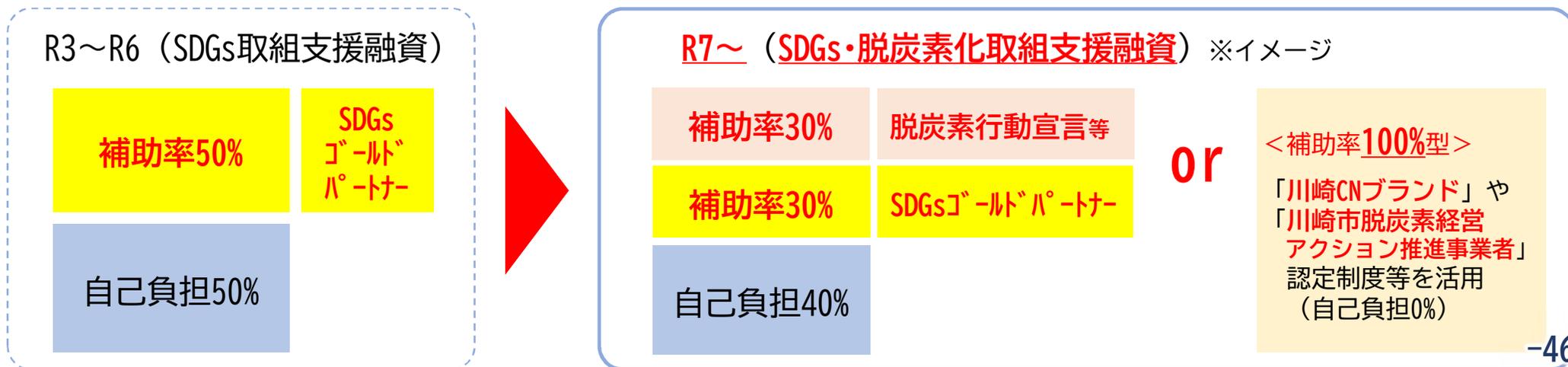
(7) 事例⑦ (経済労働局+環境局+総務企画局)

- **経済労働局**では、市内中小企業等によるSDGs取組を促すため、**総務企画局と連携し「SDGs取組支援融資」**を令和3（2021）年度に創設しました。
かわさきSDGsゴールドパートナーに対し、適用する融資制度の**信用保証料の1/2を補助**。
(R3～R5累計融資実績：約**262**件(約**46**億円))

■ 新事業概要 (R7～)

- ・ SDGsと脱炭素の双方の取組の推進による**相乗効果**を狙い、**環境局の脱炭素化施策とも連携し、令和7（2025）年度から「SDGs・脱炭素化取組支援融資」**を創設します。

インセンティブとして信用保証料の一定割合を補助



1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑧



(8) 事例⑧ (こども未来局+保育園)

- こども未来局では、SDGsを意識した保育実践や、保育の中でSDGsの継続的に行うことを目的に、保育士、看護師、栄養士で構成する「川崎市公立保育園 保育内容研究部会 専門職内容部会」において、令和5（2023）年11月に「保育所における3つの専門職で考えるSDGs」について研究発表を行いました。
- 研究部員の所属する公立保育園11園の職員（回答:217名）を対象とした基礎調査を行うとともに、調査結果について分析・考察し、「子どものつばやき」に注目し、実践を行いました。

○三者連携の取り組み実践と省察

看護師・保育士グループ 水に関するつばやき



【古川保育園 4歳児】

「水がなくなると世界中の人が困っちゃうんだよ」
「泥だらけになって泥水で手を洗わなくちゃいけないんだよ」

【中原保育園 2歳児】

手を洗う時に水を出しすぎたことに気が付き、自分で調整していた。



【中有馬保育園 3歳児】

(手洗い後のペーパータオルについて)
「〇〇ちゃん使いすぎ～。1枚だけ取るんだよ～」



つばやきからの実践とその後



水やペーパーを大量に使う例と少ししか使わない例を保育士が見せ、グループに分かれて話し合いました



古川保育園

いっぱい水を出すともったいないよね

「ちょうどよい」
がいいね



1 市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑨



(9) 事例⑨ (健康福祉局+市内外)

- **健康福祉局**では、無理なく継続して取り組みやすいウォーキングで市民の健康意識を高め、健康行動の習慣化を促進するとともに、運動成果を地域社会や子ども達にも還元することで、子ども達の希望を叶え、健康と優しさが循環する「健康循環社会」の構築を目指す「**かわさきTEKTEK**」(健康ポイント事業)を令和5(2023)年10月から開始しました。
- アプリ利用者が歩いて獲得したポイントは**市立小・中学校や特別支援学校を指定して寄附**し、本市が貯まったポイントを各学校に応援金に換算して交付します。学校では可能な限り、子どもたちが自ら応援金の用途を検討し、**子どもの健康や学校教育、地域還元等に結びつくような活用**を行っています。
- さらに、アプリの機能や事業の仕組みを活用し、市内や民間企業等と様々な連携をしており、**複数のSDGsゴールを意識した取組**が進められています。
- この取組が評価され、令和6(2024)年11月に、**第13回「健康寿命をのばそう!アワード」**(生活習慣病予防分野) **スポーツ庁長官優秀賞**(自治体部門)を受賞しました。

川崎市 Kanagawa City Frontale

かわさき TEKTEK

～歩いて貯めたポイントで子ども達を応援するスマートフォンアプリ～

雨の日に散歩でみんなで遊べるものを用意したい
図書館を快適な空間にしたい
病弱小児の環境を良くしてあげたい
校庭にミストシャワーをつけたい

日常生活で歩くだけでポイントが貯まる!
貯まったポイントは市内の小学校へ寄附することができ、子ども達に還元されます!

ダウンロード **無料**

アプリをインストールし初期登録
iPhone版
Android版

歩いてポイントを貯める
歩く・運動
小学校を選んで寄附する

寄附して得られるチケットで応援特典の抽選に申し込み
川崎フロンターレ 川崎フレイブ
川崎フロンターレ 川崎フレイブ
川崎フロンターレ 川崎フレイブ
川崎フロンターレ 川崎フレイブ

詳しくは市ホームページへ

事業主体 川崎市健康福祉局

-48-

1 市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑪

(11) 事例⑪ (中原区役所+地元保育園)



- **中原区役所**では、緑化フェアを契機として、武蔵小杉駅前のたばこやペットボトル、空き缶等のごみが散乱していたスペースに、**近隣7箇所の保育園の園児が育てる花壇「にじいろのおにわ」**を令和5(2023)年7月から設置しました。
- この取組により、**ごみの投棄防止**や**景観改善**、**緑化**に繋がるだけでなく、園庭のスペースを取りにくい駅周辺の保育園における、**土に触れる機会作り**や、**交流の場**にもなっており、**複数課題の解決(複数SDGsゴールの達成)**に資する取組となっています。



Before



After

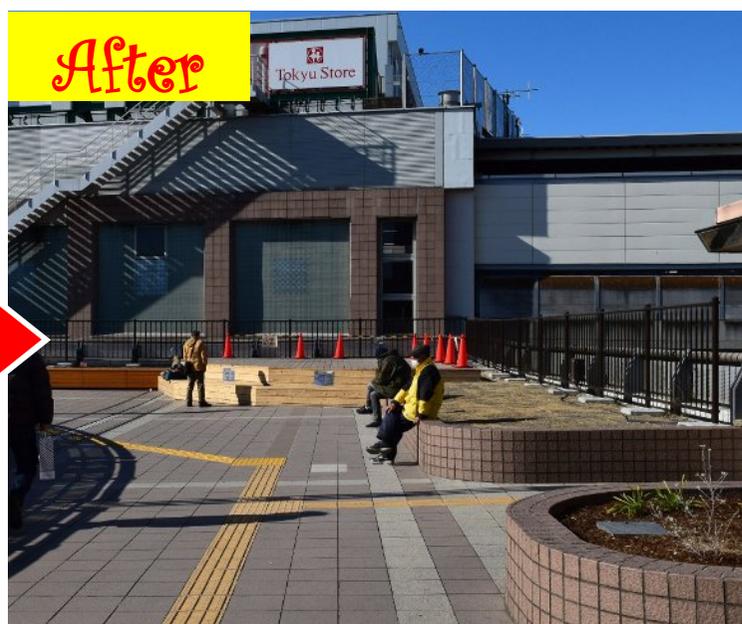


1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑫



(12) 事例⑫ (高津区役所+複数部局)

- **高津区役所**では、市制100周年を契機として、**令和6(2024)年**、**段階的に**溝口駅前の「キラリデッキ」を、区の玄関口にふさわしい魅力ある場所となるようリニューアルしました。
- この取組は、単にデッキ整備を行うのではなく、**総務企画局**や**建設緑政局**、**まちづくり局**、**市民文化局**など**複数の局と連携**し、**緑化**や**脱炭素化(再エネ、暑熱対策)**、**木質化**、**喫煙場所移転集約**などにも取り組み、居心地が良く、環境にも配慮された空間を演出しています。

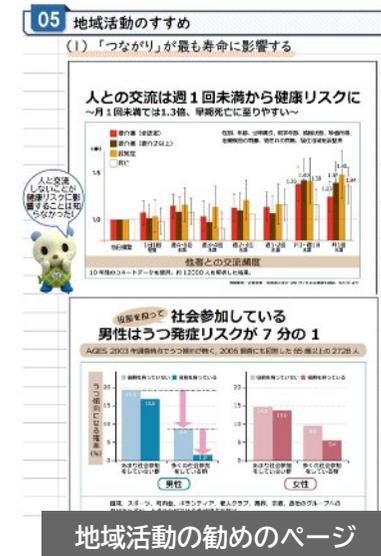
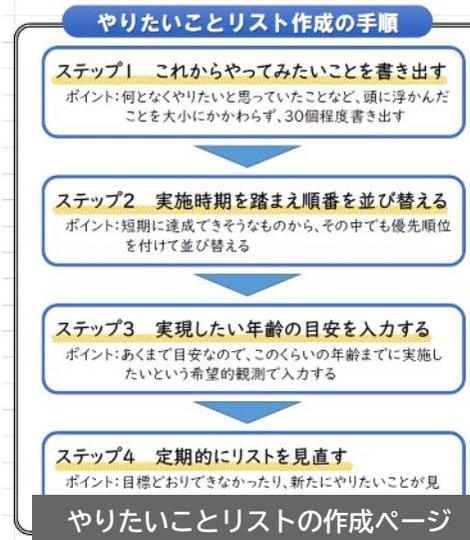
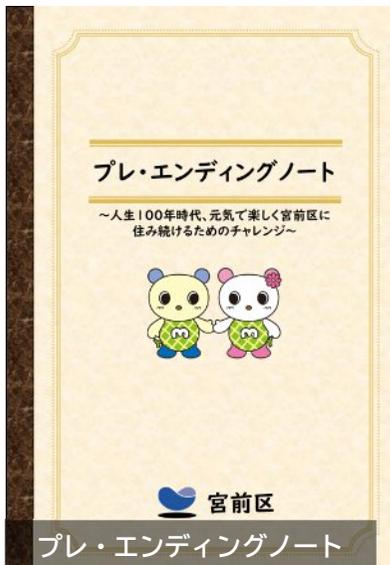


1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑬



(13) 事例⑬ (宮前区役所+地域活動+終活)

- 宮前区では、令和32年(2050年)に老年人口(65歳以上)割合が7区で最も高くなることが予想されているため、**地域とつながり元気で楽しく宮前区に住み続けてもらうことをめざし**、令和6(2024)年9月の宮前区地域デザイン会議での議論を踏まえ、**令和7(2025)年1月に「早いうちから始める終活セミナー」を開催**しました。
- このセミナーの開催に合わせて、気軽により前向きな終活を始めるきっかけとして**宮前区オリジナルの『プレ・エンディングノート』**を地域デザイン会議に参加した区民に協力いただきながら作成しました。
- このプレ・エンディングノートは家系図や連絡先、契約している保険の情報などの基本項目に加えて、「**これからやりたいこと**」や「**地域活動**」に関する項目が充実しており、**単に終活を学ぶだけでなく、終活をきっかけに様々な地域活動にも興味・関心をもってもらい、持続可能なまちづくりに繋げていく取組**となっています。

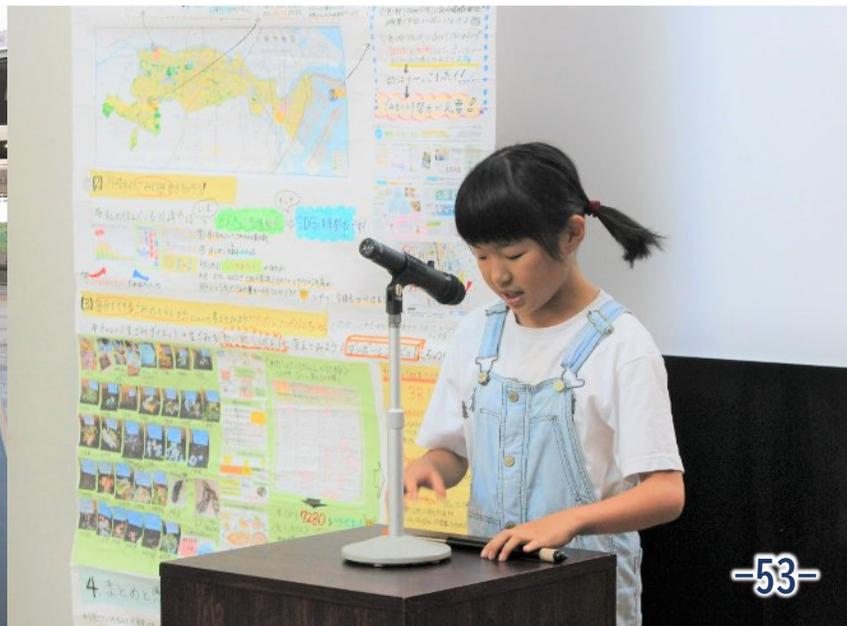
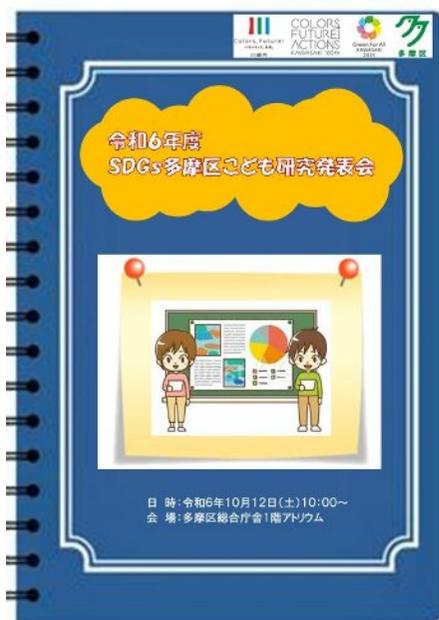


1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑭



(14) 事例⑭ (多摩区役所+大学+スポーツチーム+こども)

- 多摩区役所では、区内に在学・在住の小学生が行った夏休みの自由研究（テーマ：SDGsの取組に関する研究）を募集し、令和6（2024）年10月に専修大学や川崎フロンターレとの連携による「多摩区SDGsこども研究発表会」を開催しました。
- 発表会当日は「川崎市イベントに参加して興味を持ったこと」「夏休みの旅行先で気づいたこと」など、参加した小学生たちからSDGsを踏まえた発表が行われるとともに、専修大学や川崎フロンターレが進めるSDGsの取組に関する説明も行われました。



第5章 かわさきSDGsのゴールに向けて

かわさきTEKTEK（2023年SDGsトレインポスター（※職員デザイン））

歩いて 貯めて

ミライ 子どもを応援。

かわさき
てく てく
TEKTEK

操作はアプリで簡単！
詳細はこちら → **かわさきTEKTEK**

2023 SDGs second half
2024 KAWASAKI 100th
2025 総合計画 GOAL
2030 SDGs GOAL
2050 Society 5.0 Carbon neutral

3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
17 パートナーシップで目標を達成しよう

KAWASAKI SDGs
川崎市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

川崎市
KAWASAKI CITY

3,450
915.4 41.4 1538
-54-

1 推進体制・進行管理等

(1) かわさきSDGsの推進体制

- 総合計画（第3期実施計画）に記載のとおり、全庁的なSDGsの推進にあたっては、令和元（2019）年6月に設置した「**川崎市持続可能な開発目標(SDGs)推進本部**（※市長を本部長とし、全局（室）区長で構成）」を中心に、各局室区における取組の協力と、関係部署相互の連携を推進します。
- また、国の取組との連動や「かわさきSDGsパートナー」「川崎市SDGsプラットフォーム」を基盤とした**多様な主体との連携強化、職員や市民、企業団体等への理解の浸透**を図り、効果的にSDGsを推進します。

(2) かわさきSDGsの進行管理

- 総合計画（第3期実施計画）に記載のとおり、本市のSDGs推進の取組については、総合計画に基づく施策・事務事業を通じて行うため、**進行管理においては、総合計画における進行管理と一体的に行います。**

(3) 本『進め方』のアップデート

- SDGsは2023年から後半フェーズとなっており、2030年の取組年限に向け、SDGsを取り巻く環境は日々変化し、年々進化・加速しています。
- こうした状況を踏まえ、職員がSDGsに関する最新動向を把握し行政施策に生かしていけるよう、**本『進め方』は年1回程度を目安にアップデートを行います。**



(別紙) 附属資料等

川崎市は特別市をめざします (2024年SDGsトレインポスター (一部加工) (※職員デザイン))



引用・参考文献等

- ※1 「Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標」
- ※2 「Pact for the Future, Global Digital Compact and Declaration on Future Generations (SUMMIT OF THE FUTURE OUTCOME DOCUMENTS)」(United Nations 2024.9)
- ※3 「持続可能な開発目標 (SDGs) 実施指針改定案」(2023.11. 外務省)
- ※4 「World Now 市民が参加するSDGsが社会課題に新たな視点を与える」(GLOBE+ 2018.1)
- ※5 「ESG投資を巡る課題」(財務省資料: 早稲田大学経営管理研究科根本直子教授 2021.6)
- ※6 「SDGs経営ガイド」(経済産業省 2019.5)
- ※7 「SDGs Compass (SDGsの企業行動指針 - GRI・UNGC・WBCSD)」
- ※8 「特集 SDGs (持続可能な開発目標) と科学技術イノベーションの推進」(文部科学省 2019.9)
- ※9 「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 (2020改訂版)」(内閣府 2020.7)
- ※10 「SDGsの実践 自治体・地域活性化編」(村上周三 2019.4)
- ※11 「2022経済展望とサステナブルな資本主義の道筋」(経団連会長スピーチ 2021.12)
- ※12 「SDGs Communication Guide」(株式会社電通 SDGsコミュニケーションガイド作成委員会 2018.6)



Point!

特別市とは、川崎市などの大都市が県の区域外となり、市内の仕事をすべて行う制度です

特別市になると、急激な社会変化にもスピーディに対応でき、持続可能なまちづくりにつながります



(1) 本『進め方』の作成協力

- 本『進め方』の作成にあたり、**川崎市SDGs推進アドバイザー**（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教 高木 超）及び**川崎市SDGsプラットフォームコアメンバー**による助言・アドバイスをいただきました。

(2) 「川崎市SDGsプラットフォーム」コアメンバー

- 川崎市SDGsプラットフォームは、川崎市内でSDGs推進に取り組む事業者を支援しネットワークを構築すること等を目的として設置しており、運営に関する企画、立案や事業広報等を行うため、**コアメンバー**を組織しています。

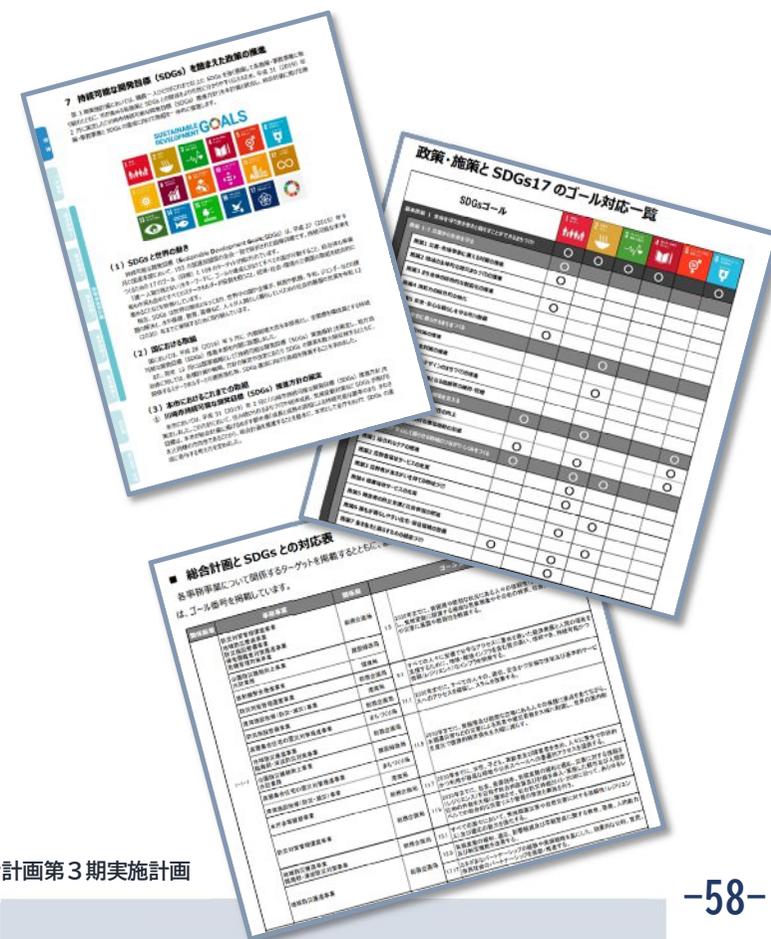
(コアメンバー)

- ・ 川崎市（事務局）
- ・ 川崎信用金庫（事務局）
- ・ 川崎商工会議所
- ・ 公益財団法人 川崎市産業振興財団
- ・ 一般社団法人 川崎青年会議所
- ・ 公益財団法人 かわさき市民活動センター
- ・ 川崎市地球温暖化防止活動推進センター



(3) 総合計画とSDGsの対応

- 総合計画（第3期実施計画）p64～66
SDGsを踏まえた政策の推進について示しています。
- 総合計画（第3期実施計画）p104～116
かわさき10年戦略における2030年にめざす姿と併せて、SDGsの関連するゴールを示しています。
- 総合計画（第3期実施計画）p128～135
総合計画の政策・施策とSDGs17のゴールの対応一覧を示しています。
- 総合計画（第3期実施計画）p736～755
総合計画の各事務事業について関係するターゲットを掲載するとともに、該当するゴール全体に関する事務事業については、ゴール番号を示しています。



川崎市総合計画第3期実施計画

(4) 「川崎市SDGsプラットフォーム」の取組例

ア かわさきSDGs大賞

- SDGsの推進に向けた具体的な取組の普及及び推進を図るため、「かわさきSDGsパートナー」の優れた取組を表彰する「かわさきSDGs大賞」を**令和4（2022）年度から実施**

かわさき
SDGs
大賞2024

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

最優秀賞 地域・社会部門

社会福祉法人檸檬会レイモンド元住吉保育園
身近なひと、もの、ことに主体的に関わる幼児期のESD
～野菜栽培から『わたしたちに何ができるかな』～

最優秀賞 経営部門

味の素株式会社 川崎事業所
製造業としての「つくる責任・つかう責任」
地域社会との共生・共創による循環型社会の実現の取組

地域・社会部門 優秀賞

プロジェクトK
(川崎市立川崎高等学校生活科学科2年・有限会社グリーンフーズあつみ「おつけもの慶」)
地元の食文化で地域社会の活性と持続的社會構築を目指した企業と学校の連携事業・プロジェクトK

地域・社会部門 優秀賞

スナイプパレー 合同会社
身近な川崎の海の環境を通して、海洋ごみ・温暖化の問題を伝え、市民の行動変容につなげる取組

経営部門 優秀賞

株式会社 SKLO(スコー)
Design Upcycle
～廃棄物に新たな命を吹き込むSKLOの挑戦～

地域・社会部門 優秀賞

特別養護老人ホーム 潮見台みどりの丘
ミッションインポッシブル「おむつを減らせ」

地域・社会部門 優秀賞

一般社団法人 サステナブルマップ
地域の推し活×SDGs
～小中学生が主役の麻生区SDGs推進隊活動～

経営部門 優秀賞

株式会社 ノンバーバル
市内産カンキツ類を用いたアロマ製品の製造プロジェクト

2024年度から 応募が簡単に!

- ✓ 申込方法が簡単に!
- ✓ 申請様式が簡単に!
- ✓ 審査回数が少なく!
- ✓ 表彰内容が明確に!

イ SDGsモデル事業創出支援補助金

- ・「SDGsモデル事業創出支援補助金」を令和4（2022）から実施。

- ・補助概要（R5）

1件あたり 補助率1/2以下かつ補助限度額50万円

<R5採択例> Unlocking! ～障害児者の輝ける未来へ～プロジェクト（交付額：500,000円）

- ・申請者：株式会社東京エンジニアリング
- ・取組概要：障害児者の能力を可視化するクラウドサービスに脳トレアプリを連結し、障害者の秘めた能力を発見



だんだんシリーズ
脳トレーニングアプリ



新城小学校支援級
現地でのアセスメントの様子



高津中学校
現地でのアセスメントの様子

ウ 川崎市SDGsプラットフォーム「分科会」

- ・パートナー間によるSDGsの達成に向けた課題の検討や知見の共有及び取組の具体化に向けた研究などを行うことを目的に、**令和4（2022）年度から「分科会」を設置。**
- ・現在、**10分科会**（のべ13分科会）が発足し、パートナー同士が協力・連携し、お互いの強みやノウハウを活かして、**自主的に活動**している（※2025.2末時点の数）。

※団体数は発足時点

—	令和7年2月末現在活動中の分科会
1	海の豊かさを守ろう fromかわさき（5団体）
2	次世代向けSDGsチャンネル（14団体）
3	健康経営を探求し構想し実現を目指す（4団体）
5	子どもたちへの寄付スキーム（15団体）
6	シン・ダイバーシティwithかわさき（10団体）
7	川崎発！医療のエコ活動を広めよう（4団体）
8	川崎雑紙3R促進研究会 地産地消効果の検証（4団体）
9	フォレスト・サポート・プロジェクト（6団体）
10	すべての人が文化・スポーツを楽しむ（5団体）
11	デジタルを活用した社会課題解決（5団体）

川崎市SDGsプラットフォーム「分科会」活動計画書(第1号様式)

「海の豊かさを守ろう from かわさき」分科会

2022年度設置
官庁No. 01

分科会長 (事業者・団体名) スナイプバレー合同会社

関連する 主なゴール

設立目的・趣旨・概要 海の環境問題について、ビーチクリーンアップやリバークリーンアップなどを通して、陸上から海にゴミが流れ込んでいることを理解したり、セミナーやワークショップの開催などで、今、何が起きているのかを多くの人に知ってもらうことを目的に活動します。

活動計画・活動内容

計 画：海の環境を知り、海の環境に配慮した製品の紹介・開発等を行う。

活動①：イベント出展
参加メンバーの協働で、それぞれの強みを活かしながら、SDGs関連のイベントに出展。メンバー個別でも積極的に参加する。

活動②：セミナー・ワークショップ開催
参加メンバーの協働、もしくは個別で、海の環境保全に関するセミナー・ワークショップを開催。

活動③：ビーチクリーンアップ実施
ビーチクリーンアップを実施し、実際の海の現状を知ってもらうとともに、意見交換などを行う。

海の環境を守るためにできることを、一緒に考えてみませんか？

<認知・仲間づくり> イベントの出展など
<学食・体験> ビーチクリーンアップ、セミナー等

募集したいパートナー 「美しい海を後世に」と思う方なら誰でも

参加メンバー スナイプバレー合同会社【※代表】、かわさき生活クラブ生活協同組合、東京第四交差点 小杉方面、美遊JAPAN 有明会社、青空かみしばい&和物大道芸の会、株式会社高富商店

SDGs分科会取組紹介シート

エ かわさきSDGsポータルサイト

- ・かわさきSDGsパートナーの登録・認証制度への申請等の効率的な運用や、パートナーの活動の見える化による市民理解の促進を目的に**令和5(2023)年1月から運用開始**。



オ かわさきSDGsパートナーまつり

- ・かわさきSDGsパートナーと一緒にを行う市民イベント「かわさきSDGsパートナーまつり2024」を**令和6(2024)年10月に開催(2回目)**
(主催：NECプロボノ倶楽部)



カ SDGsトレイン

- ・東急株式会社が運行する「SDGsトレイン」に本市の取組を紹介するポスターを掲出し、SDGsの普及啓発を推進
- ・運行期間：**令和2(2020)年9月から令和8(2026)年3月まで**
(1年を4クールに分けて掲示内容変更)



キ その他事業展開

- DeNA川崎ブレイブサンダースとの共催によるSDGsフォーラムや&ONEdaysを開催し、企業の先進事例や、より実践的な取組を共有。
- 市政だよりや、教育だより、かわさきFM、ポータルサイト等でSDGsの理解促進を図るとともに、川崎フロンターレ主催のSDGsランドや、国際環境技術展等のイベントへの出展、出前講座など市民・事業者への普及促進を実施。
- 専修大学×NEC（未来の川崎ワークショップ）や橘高校（探求総合学習）、平間学校（平間小SDGsフェス）、など、学校とパートナーとの連携によるSDGs教育、出張授業等を実施。



&ONEdays (DeNA川崎ブレイブサンダース連携)



SDGsランド (川崎フロンターレ連携)



専修大学×NEC
(未来の川崎ワークショップ)

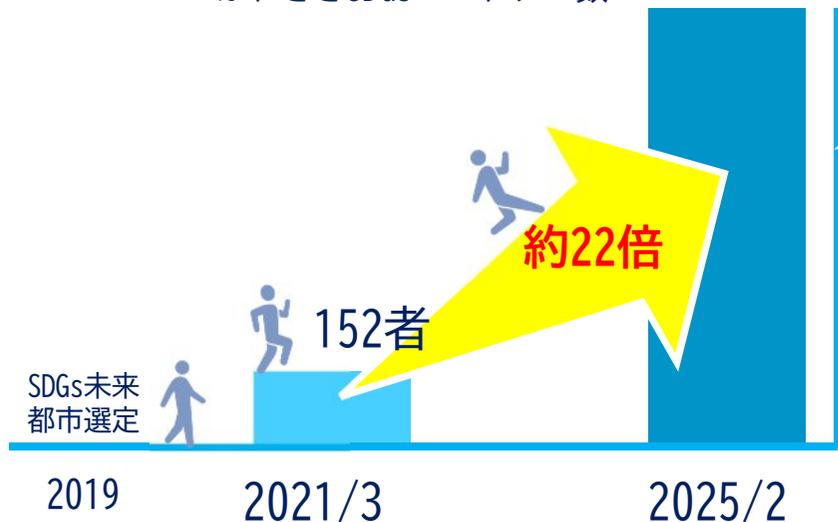


SDGsフォーラム (DeNA川崎
ブレイブサンダース連携)

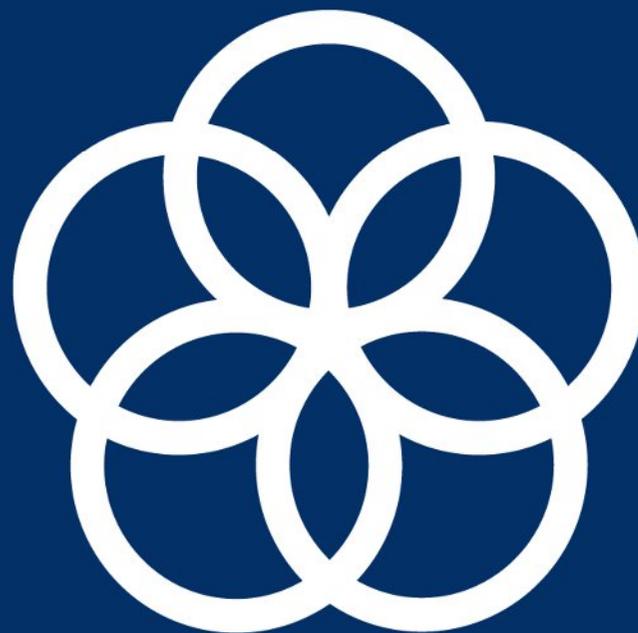
川崎市は
あらゆるSDGsゴールを
パートナーシップで達成

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

かわさきSDGsパートナー数 3,416者



全国
最大規模





Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

2030 川崎から未来へ



KAWASAKI
SDGs 

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



2025年3月川崎市

